

技術報告会静岡大学学長挨拶

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-06-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 石井, 潔 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00025261

技術報告会 静岡大学学長 挨拶

学長 石井潔

ただいまペッパー君にご紹介いただきました静岡大学学長の石井でございます。本年の静岡大学の技術報告会は通算第 23 回となりました。今年も近隣大学の技術職員の皆様からご参加をいただき、誠にありがとうございます。近年、技術職員の量的質的整備が不十分なことは国際的にみても日本の研究環境の欠陥のひとつとしても取り上げられることが多くなっております。人件費の確保に苦勞している現状では量的な面で一大学ができることの範囲は限られておりますが、質的の向上という点では本技術報告会に集約される日々の研鑽をきわめて大きな意味を持っております。今後とも技術職員の皆様には着実に技術を磨き、技術報告会の歴史を積み重ねていくことを期待しております。

静岡大学技術報告会の開催地は、静岡大学のキャンパスが静岡と浜松にあることから静岡と浜松の交互開催となっております。今年は浜松キャンパスでの開催となりました。浜松キャンパスは、旧浜松工業専門学校の系譜を引継いだキャンパスで旧浜松高等工業学校では「自由啓発」をその理念として掲げておりました。初代校長を務められた関口壮吉先生は学生たちを試験や賞罰によって縛るのではなく、できる限り自由な環境のなかに置き一人一人の個性を尊重することを通してその才能を発揮させることをめざす教育を提唱され、そのことを「自由啓発」という言葉で表現されたものでございます。この理念は、教育だけでなくなにごともとらわれない自由な発想に基づく独創的な研究、相互啓発的な社会との協働に不可欠であり、時代を越えて受け継がれてゆくべきものであると考えております。日本におけるテレビの父として有名な高柳健次郎先生も関口校長のこのようなリーダーシップのもとでこそその独創的な研究に取り組むことができたのであり、静岡大学の学生・教職員はこのような認識の下で、教育、研究、社会連携・産学連携、国際連携の柱として「自由啓発」の理念を引き続き高く掲げていく所存でございます。

静岡大学の技術部は、平成 24 年 4 月に各部局の技術部を集約する形で各部局単位の業務を基本的には尊重するという条件の下での全学一元化を行いました。そして平成 30 年 4 月からは、技術部組織のさらなる改組を計画しております。その具体的な方向性については私の後にお話しされる木村技術部長に譲りたいと思いますが、全学的な観点からのより適切な人材配置、人材養成に道を開くものと私としては考えております。

静岡大学の更なる発展を支える基盤を担う技術組織としての技術部の皆さんの日頃のご努力に敬意を表しますとともに、技術部全体のさらなる発展へ向け引き続きのご協力をお願い致しまして私の本日の挨拶とさせていただきます。どうも有り難うございました。